

原比露志 ひろし 風俗史家。明治二十四年東京生れ（一九〇一）。本名浩三。別名梶原景浩。東京帝國大學文學部美術史選科卒。爾來讀賣新聞社、寫眞協會、情報局囑託を經て、民報社、内外タイム入社勤務。

著書に『日本好色美術史』（昭和五年七月）『風俗資料刊行會』（『港々の獵奇術』（昭和六年十月）『風俗資料刊行會』（『カメラ口』『叢書』）、『續寢室の美學』（昭和八年一月十五日風俗資料刊行會）、『寢室の美學』（昭和二十二年十月十五日、再刊。十一月五日第一文庫）、『現代未摘花』（編、昭和二十七年七月）『二十五日三書房』、『川柳女一代』（昭和二十八年六月）『二十五日紫書房』、『このころごころ』一地位及びテムポ・リズムに關する十八の意見』（合著、昭和二十年四月）『二十五日あまとりあ社』、『おんなごよみ』（昭和二十年九月）『二十五日あまとりあ社』、『売春風俗史』（昭和二十年十一月）『五日齋書房』、『コバルト新書』）、『性美術入門』（昭和四十四年七月）『二十五日雄山閣出版株式会社』等。

